2026年11月12日

各　位

会 社 名 株 式 会 社 パ ワ ー エ ッ ク ス
代表者名 取締役兼代表執行役社長 CEO　伊藤 正裕
（コード番号：485A 東証グロース市場）
問合せ先 執行役コーポレート領域管掌 CFO　藤田 利之
（TEL：03-4400-7296）

通期業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2026年6月25日に公表した2026年12月期通期（2026年1月1日から2026年12月31日）の業績予想について、本日開催の執行役会において下記の通り修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

１．当期の連結業績予想数値の修正（2026年1月1日～2026年12月31日）

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益（注）
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	40,000	2,500～3,000	2,000～2,500	1,000～1,500	1,000～1,500	8.80～13.20
今回修正予想（B）	41,000	2,700～3,000	2,200～2,500	1,000～1,500	1,000～1,500	8.73～13.10
増減（B－A）	1,000	200～–	200～–	–	–	
増減率（％）	2.5%	8.0%～–	10.0%～–	–	–	
（参考）前期実績（2025年12月期）	19,306	△137	△677	△1,796	△1,646	△17.13

（注）当社は、2026年6月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

２．修正の理由

(1) 売上高の上方修正および受注状況

当社は、主力である定置用蓄電システム（BESS）事業において、顧客からの旺盛な需要を背景に受注を順調に積み上げてまいりました。今期（2026年12月期）に売上計上を予定する正式受注および受注見込みの総額は42,136百万円に達しており、今回修正後の通期売上高予想41,000百万円を十分にカバーする水準を確保しております。

また、2026年度販売予定分の製品生産につきましては、すべて完了しております。出荷計画に影響を及ぼす生産遅延もなく、第4四半期における現地納入および顧客検収は計画通り順調に進行しております。

これらの受注状況、生産・納品状況を踏まえ、2026 年 12 月期の通期連結売上高予想を従来の 40,000 百万円から 41,000 百万円（前回予想比+2.5%）へ上方修正いたします。

(2) 売上総利益（率）の動向

当第 3 四半期累計期間におきましては、リチウム等原材料価格の上昇や為替変動の影響による原価上昇等を受け、売上総利益率が一時的に低下いたしましたものの、第 4 四半期以降におきましては、水冷方式を採用した高効率な新製品「Mega Power 2500」の出荷・納入が順次開始されることにより、製品原価率の改善および売上総利益率の回復を見込んでおり、売上総利益（率）は概ね当初の想定の範囲内で推移しております。

(3) 販管費の動向および営業利益・EBITDA の上方修正

販売費及び一般管理費（販管費）におきましては、2026 年 6 月 25 日付「通期業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ」にて発表させていただいた、Power Base Hokkaido におけるデータセンター関連の実証環境への投資は、2026 年 8 月 13 日付「（開示事項の経過）北海道苫小牧市への新工場開設に関するお知らせ」にて発表させていただいた Power Base Hokkaido の稼働開始の後ろ倒し等の理由により翌期以降に後ろ倒しを行ったものの、引き続き「Grid Connector for BESS」、「Grid Connector for DC」、「Mega Power 4000 シリーズ」等の開発を行っており、また、その他急速な事業拡大に伴う必要な投資や一時的な費用が生じているものの、効率的な支出管理により概ね想定の範囲内で推移しております。

これらの結果、強固な受注状況に基づく売上高および売上総利益の増大と適切な販管費管理を通じ、営業利益予想レンジの下限値を 2,200 百万円（前回：2,000 百万円、下限比+10.0%）へ、EBITDA 予想レンジの下限値を 2,700 百万円（前回：2,500 百万円、下限比+8.0%）へそれぞれ上方修正いたします。

経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、営業外損益や特別損益の影響を慎重に見極めるため、従来の予想レンジ（1,000 百万円～1,500 百万円）を据え置いております。なお、親会社株主に帰属する当期純利益の予想数値に変更はありませんが、当期中における新株予約権（ストックオプション）の行使に伴う発行済株式数の増加に伴い、１株当たり当期純利益の予想数値を修正しております。

※ 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上